



(財) 財務会計基準機構会員

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社トリドール 上場取引所 東
 コード番号 3397 URL <http://www.toridoll.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗田 貴也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 若山 義晃 TEL 078-200-3430
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	11,306	35.7	1,262	14.1	1,193	9.7	407	△25.3
22年3月期第1四半期	8,335	62.0	1,106	81.0	1,088	80.1	545	76.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	2,076 86	2,075 27
22年3月期第1四半期	2,779 21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	27,448	7,792	28.1	39,335 32
22年3月期	25,374	7,816	30.6	39,558 81

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 7,716百万円 22年3月期 7,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	2,300 00	2,300 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0 00	—	2,300 00	2,300 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,900	30.6	2,630	6.9	2,540	5.2	1,050	△11.1	5,352 50
通期	50,100	28.7	5,360	11.1	5,160	9.2	2,280	0.9	11,622 57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	196,170株	22年3月期	196,170株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	—株	22年3月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	196,170株	22年3月期1Q	196,170株
----------	----------	----------	----------

(※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
【第1四半期累計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 仕入及び販売の状況	11

※ 当社では、個人投資家向けの皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催していません。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、海外経済の改善や緊急経済対策をはじめとする政策の効果などを背景に、景気は自律的回復に向かう事が期待されております。

しかしながら、外食産業においては、依然、デフレの影響を受け、消費者の節約志向が一層高まる中、多くの企業の業績が低迷するなど、厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社では、主力業態であります「丸亀製麺」に経営資源を集中し、客単価500円という低価格に加え、手づくりへのこだわりと、店頭での臨場感あふれる演出によって、多くのお客様の支持を得て飛躍的な成長を遂げてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高113億6百万円（前年同期比35.7%増）、営業利益12億62百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益11億93百万円（前年同期比9.7%増）となりましたが、資産除去債務に関する会計基準の適用や少額減価償却資産の処理方法を変更したことに伴う特別損失の発生の影響により、四半期純利益は4億7百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

① 丸亀製麺部門

当部門（セルフうどん業態）におきましては、引き続き経営資源を集中させ、当第1四半期累計期間では、ロードサイド35店舗、ショッピングセンター内3店舗の計38店舗を出店したことにより、当第1四半期累計期間末の営業店舗数は、前年同期末の245店舗から122店舗増加し、367店舗となった結果、当部門の売上高は98億16百万円（前年同期比47.4%増）となりました。

② とりどーる部門

当部門（焼き鳥ファミリーダイニング業態）におきましては、当第1四半期累計期間末の営業店舗数は、前年同期末の26店舗から2店舗減少し、24店舗となった結果、当部門の売上高は7億14百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

③ 丸醬屋部門

当部門（ラーメン業態）におきましては、当第1四半期累計期間末の営業店舗数は、前年同期末の24店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は3億80百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

④ 長田本庄軒部門

当部門（焼そば業態）におきましては、当第1四半期累計期間末の営業店舗数は、前年同期末の15店舗から増減はなく、当部門の売上高は2億24百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

⑤ その他部門

当部門におきましては、当第1四半期累計期間末の営業店舗数は、前年同期末の18店舗から8店舗減少し、10店舗となった結果、当部門の売上高は1億70百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前会計年度末に比べ20億74百万円増加し、274億48百万円(前期比8.2%増)となりました。主な要因は次のとおりです。

流動資産につきましては、余剰資金を圧縮したことにより、前会計年度末に比べ1億32百万円減少し、59億90百万円(前期比2.2%減)となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が前会計年度末に比べ14億94百万円増加し、140億73百万円(前期比11.9%増)となりました。これらは、主に新規出店に係わる設備投資によるものです。投資その他の資産は、前会計年度末に比べ7億13百万円増加し、71億80百万円(前期比11.0%増)となりました。これらは、主に新規出店に係わる敷金及び保証金、建設協力金等の増加によるものです。

(負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前会計年度末に比べ20億97百万円増加し、196億56百万円(前期比11.9%増)となりました。主な要因は次のとおりです。

短期借入金及び長期借入金(1年以内返済予定を含む)の合計額が前会計年度末に比べ22億19百万円増加し、118億44百万円(前期比23.1%増)となりました。これらは、積極的な設備投資のための資金調達によるものです。

また、純資産は、前会計年度末に比べ23百万円減少し、77億92百万円となりました。これは、当第1四半期の純利益4億7百万円に対し、第20期の期末配当金を4億51百万円を支払ったこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物は、主に新規出店にかかる設備投資等のため、投資活動に使用する資金を、営業活動により獲得及び財務活動により調達した一方で、余剰資金を圧縮したことにより、前年同四半期に比べ4億36百万円減少し、46億60百万円(前年同期比8.6%減)となりました。主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、3億23百万円(前年同期比54.1%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益を8億16百万円、減価償却費を6億11百万円計上した一方で、法人税等の支払による支出が15億37百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、18億13百万円(前年同期比13.5%減)となりました。これは主に新規出店に伴い、有形固定資産の取得による支出が11億46百万円、敷金及び保証金の支払による支出が1億29百万円及び建設協力金の支払による支出が5億32百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、14億89百万円(前年同期比2.7%減)となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金による収入が40億円あった一方で、借入金の返済及び社債の償還による支出が20億20百万円、配当金の支払が4億51百万円あったこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き事業領域の選択と集中を行い、投資資金をより収益性の高い事業である丸亀製麺部門を中心に展開する予定であります。

第21期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の出店数は、前事業年度の128店舗のペースを維持すべく、120店舗の新規出店を計画しております。

出店形態に関しましては、ロードサイドへの出店を中心に、都心部への展開を積極的に行うため、ビルイン店舗を増加させる予定であります。

また、新規出店の増加に伴う変動費の増加や、店舗設備の入替に伴う営繕費用等を積極的に織込んだことから販売費及び一般管理費の増加を予定しております。

更に、資産除去債務の計上に伴う初年度損失見込額も特別損失に見込んでおります。

以上の状況から、通期の業績見通しにつきましては、売上高501億円、営業利益53億60百万円、経常利益51億60百万円、当期純利益22億80百万円を見込んでおり、現時点では変更はございません。

但し、当社では、出店に際して、店舗の採算性を重視しておりますため、計画した店舗数に見合った出店地を十分に確保できない場合や、食材に係わる安全面の問題や市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係わる減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ7,073千円減少し、税引前四半期純利益は104,904千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は307,865千円であります。

(少額減価償却資産)

従来、取得価額が10万円以上20万円未満の少額減価償却資産は、有形固定資産として計上し3年間で均等償却しておりましたが、当該資産の最近における使用状況等を勘案し、事務処理等の効率化と財務体質の一層の健全化を図るため、当第1四半期会計期間より取得時に全額費用処理する方法に変更しております。

これに伴い、前期末残高248,185千円を一括償却し、特別損失に計上しております。この変更により、従来と同一の方法によった場合に比べて営業利益及び経常利益はそれぞれ27,191千円減少し、税引前四半期純利益は275,377千円減少しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,660,953	4,662,096
営業未収入金	723,629	814,951
原材料及び貯蔵品	69,696	71,088
繰延税金資産	91,724	204,374
その他	444,841	370,907
流動資産合計	5,990,844	6,123,418
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,932,033	7,813,535
工具、器具及び備品	1,856,785	1,840,972
リース資産	2,301,834	1,884,357
その他	982,363	1,039,519
有形固定資産合計	14,073,017	12,578,385
無形固定資産	204,594	205,721
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,678,333	2,585,593
建設協力金	3,387,710	2,996,608
繰延税金資産	467,564	293,479
その他	699,355	614,071
貸倒引当金	△52,745	△23,110
投資その他の資産合計	7,180,218	6,466,642
固定資産合計	21,457,830	19,250,749
資産合計	27,448,675	25,374,167
負債の部		
流動負債		
買掛金	970,042	1,008,289
1年内返済予定の長期借入金	3,771,098	2,679,557
1年内償還予定の社債	—	240,000
リース債務	150,468	131,975
未払法人税等	512,235	1,626,942
引当金	83,336	151,781
その他	3,280,593	2,742,703
流動負債合計	8,767,775	8,581,249
固定負債		
長期借入金	8,073,695	6,945,624
リース債務	2,389,043	1,946,518
リース資産減損調整勘定	69,107	72,139
資産除去債務	344,608	—
その他	11,826	12,620
固定負債合計	10,888,281	8,976,902
負債合計	19,656,057	17,558,151

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,318,296	1,318,296
資本剰余金	1,375,944	1,375,944
利益剰余金	5,022,355	5,066,127
株主資本合計	7,716,595	7,760,367
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△185	△115
評価・換算差額等合計	△185	△115
新株予約権	76,207	55,763
純資産合計	7,792,617	7,816,015
負債純資産合計	27,448,675	25,374,167

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	8,335,007	11,306,628
売上原価	2,062,376	2,786,791
売上総利益	6,272,630	8,519,837
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	5,166,192	7,257,260
営業利益	1,106,438	1,262,576
営業外収益		
受取利息	10,912	15,476
受取配当金	19	18
受取地代家賃	2,201	2,201
ポイント引当金戻入額	6,008	—
その他	7,094	15,077
営業外収益合計	26,236	32,773
営業外費用		
支払利息	39,460	67,629
貸倒引当金繰入額	—	29,634
その他	5,003	4,574
営業外費用合計	44,464	101,838
経常利益	1,088,210	1,193,511
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	40,129	1,200
減損損失	—	34,335
少額減価償却資産償却	—	248,185
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	92,830
特別損失合計	40,129	376,552
税引前四半期純利益	1,048,081	816,958
法人税、住民税及び事業税	469,717	470,927
法人税等調整額	33,164	△61,387
法人税等合計	502,882	409,539
四半期純利益	545,199	407,418

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,048,081	816,958
減価償却費	408,181	611,667
減損損失	—	34,335
少額減価償却資産償却	—	248,185
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	92,830
株式報酬費用	—	20,443
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,200	29,634
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△6,008	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,506	△53,284
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	40,129	△15,159
受取利息及び受取配当金	△10,932	△15,494
支払利息及び社債利息	39,460	67,629
固定資産除却損	—	573
売上債権の増減額(△は増加)	31,040	91,322
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,131	1,391
仕入債務の増減額(△は減少)	17,136	△38,246
その他	212,516	37,917
小計	1,741,167	1,930,706
利息及び配当金の受取額	627	20
利息の支払額	△40,377	△70,087
法人税等の支払額	△997,640	△1,537,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	703,778	323,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,582,343	△1,146,948
無形固定資産の取得による支出	△7,776	△80,519
敷金及び保証金の差入による支出	△241,341	△129,322
敷金及び保証金の回収による収入	4,017	23,188
建設協力金の支払による支出	△298,000	△532,040
建設協力金の回収による収入	34,627	55,406
その他	△6,646	△3,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,097,464	△1,813,869
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	1,800,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	△661,646	△780,388
社債の償還による支出	△20,000	△240,000
リース債務の返済による支出	△26,347	△38,729
配当金の支払額	△261,560	△451,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,530,446	1,489,691
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,759	△1,143
現金及び現金同等物の期首残高	4,960,527	4,662,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,097,287	4,660,953

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当事業年度における仕入実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第20期 第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		第21期 第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
丸亀製麺	1,609,753	76.8	2,412,945	85.1
とりどーる	247,575	11.8	216,783	7.7
丸醬屋	106,465	5.1	101,146	3.6
長田本庄軒	56,042	2.7	58,042	2.0
その他	76,235	3.6	45,522	1.6
合計	2,096,073	100.0	2,834,440	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当事業年度における販売実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第20期 第1半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		第21期 第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
丸亀製麺	6,659,293	79.9	9,816,294	86.8
とりどーる	789,707	9.5	714,617	6.3
丸醬屋	389,163	4.7	380,130	3.4
長田本庄軒	224,492	2.7	224,865	2.0
その他	272,351	3.2	170,720	1.5
合計	8,335,007	100.0	11,306,628	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。